

顛末書

令和7年5月5日

株式会社サンプル商事 代表取締役 山田 太郎 殿

件名

B社向け納品 5月3日分における数量違算に関する顛末書

発生日時

令和7年5月3日 午後14時30分頃

発生場所

弊社 横浜倉庫 出荷場

関係者

自社：営業部 佐藤 次郎、出荷課 田中 三郎 / 取引先：B社 購買部 鈴木 花子 様

経緯（時系列）

- 5/3 13:00 出荷指示書を受領（発注数量 1,000個）
- 5/3 14:30 ピッキング完了 検品未実施のまま出荷（実数量 800個）
- 5/4 10:00 B社より不足の指摘 即時 200個追加出荷
- 5/5 09:00 B社購買部に謝罪訪問・受領確認

原因（直接原因・根本原因）

- 直接原因：検品工程をスキップしたため、ピッキング時の数量誤り（180個欠品）が発覚しなかった
- 根本原因：5月連休前で人手不足、検品工程の責任者が不在、ダブルチェック体制が機能していなかった

影響範囲

- お客様への影響：B社製造ラインで2時間の生産遅延、信頼関係の毀損リスク
- 社内への影響：緊急対応で営業3名・出荷2名の残業が発生
- 金銭的損失（試算）：緊急配送費 4万円、人件費 6万円、計 10万円

再発防止策

- 検品工程の必須化（出荷前の数量・品質チェック表を導入し、責任者の押印必須）
- ダブルチェック体制（ピッカー + 検品担当者の2名制を5月中に運用開始）
- 連休前後の応援体制（事前に応援要員を配置・週次の出荷予定数の見える化）

結語

今後はこのような事態を繰り返さぬよう、再発防止策を遵守し、業務にあたります。この度は誠に申し訳ございませんでした。

住所：東京都新宿区サンプル町2-3-4

氏名：佐藤 次郎 印